



「相対的無輸血」のお知らせ ～輸血を拒否される患者様へ～

セcomedィック病院では、患者様との信頼関係を第一に考え、医療行為の実施にあたり説明と同意（インフォームド・コンセント）に努めております。その中で、最近、宗教的理由などから輸血を拒否される患者様がおります。私たちは、無輸血または必要最低限の輸血で診療を行っておりますが、手術をはじめとする診療中に「生命の危機」が生じ、医師の倫理に基づき輸血をせざるを得ないと判断した場合には、宗教的理由などから輸血を拒否される患者様に対しても、輸血を実施する立場をとっています（いわゆる「相対的無輸血」）。今後、当院では、この「相対的無輸血」の立場で診療を行ってまいりますので、ご理解の上、ご協力のほどお願い申し上げます。

相対的無輸血とは？

「手術」治療にあたってはできる限り、輸血をしないこととするが、輸血以外に救命手段がない事態になった場合には輸血を行うこと。

絶対無輸血とは？

「手術」治療にあたっては、輸血以外に救命手段がない事態になっても輸血はしないこと。